

○平和大会パンフレットから図表を切り抜いて隙間を埋めました。見にくいかもしれませんが、この機会にパンフレットを手元にどうぞ。



平和新聞

甲府市徳行4-3-17
TEL055-287-6272
山梨県平和委員会

山梨版

2024 年日本平和大会
(11 月 16 日オンライン開催)

パンフレット学習会

9月12日に放映された you tube 動画は
日本平和委員会ホームページでいつでも
スマホ・パソコンで視聴できます。

お話し：千坂純（日本平和委員会事務局長）

**大軍拡ストップ、9条に基づく平和外交を！
総選挙で政治を変えよう！**

看板を変えても
中身は同じ

自民党総裁選は9月27日に行われ、新しい総裁が決まります。

日本平和委員会は、11月16日に平和大会をオンラインで開催します。大会パンフも出来上がっています。パンフを手元に学習を深め力にしましょう。

う。千坂純事務局長によるオンライン学習会はいつでもどこでもパソコンやスマホで視聴できます。

朝日新聞世論調査
2024年5月

▼日本国憲法第九条を

変えない方がよい	変える方がよい
61%	32%

**自衛隊への名簿提供
違法性を学び、
自治体に止めるよう
申入れよう**

アメリカ追随、財界奉仕、国民生活切り捨ての姿勢に変わりはありません。

総選挙で政治をもとから変えるしかありません。

平和大会学習パンフで学習を深めよう

自衛隊は67年当時から住民基本台帳を基礎に自衛隊員募集にあたっての適格者名簿を作成してまいりました。19年に安倍首相が「防衛大臣からの要請にもかかわらず、全体の6割以上の自治体から自衛隊員募集に必要なとなる所要の協力が得られていない。」と発言しました。21年には、防衛省と総務省の連名で「自衛官募集事務に関する資料の提出について（通知）」が出され、募集対象者の個人4情報（氏名、生年月日、性別住所）の提供については、自衛隊法97条の規定に基づき、防衛大臣が市区町村の長に対して求めることが出来るとされました。

山梨県では、19年に27市町村すべてで

紙媒体での名簿提出が住民基本台帳の閲覧（忍野村）といった形で国に情報を提供しています。

奈良市では23年2月に、翌年度22歳と18歳になる若者の名簿提出が行われました。7月、自衛隊から対象者に「自衛官募集の案内のはがき」が届きました。このはがきを受け取ったRYU君は、「憲法13条、個人情報保護法、奈良市個人情報保護条例において、個人のプライバシーが守られ、自己に関する情報をコントロールする権利があるのに、本人の知らないところで個人情報や自衛隊に提供するのは違

に送る企みに自治体
が加担していること
にも問題があります。
「はがきが来たってす
ててしまえばいい。」
と片づけられること
ではありません。

山梨県も他人事では
ありません。平和
委員会ではこの秋か
ら各自自治体への申し
入れを始めていきま
す。そのために、10
月4日（金）14時か
ら16時まで勤医協駅
前ビル（共立歯科セ
ンター）5階大会議
室にて「若者の名簿
を自衛隊に渡さない」
オンライン学習会を
開きます。講師は奈
良県平和委員会理事
長・RYU裁判を支
援する会事務局長の
河戸憲次郎さんです。

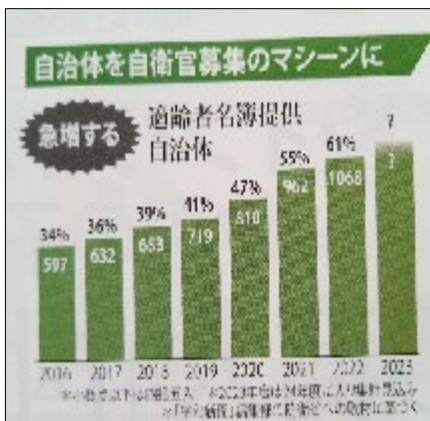
個人のパソコンで聞
きたいという方は sug
asawa・sabu@gmail
com まで「ご連絡くだ
さい。

百衛隊から勧誘ハガキが届いた

by 由季まどか



名簿提供自治体数の推移



※ 23年度の自衛官の採用率は過去最低の51%。

昨年9月18日、沖縄の玉城知事は国連人権理事会で「沖縄の状況を世界中から関心を持つて見てほしい。」と訴えた。沖縄が再び戦場になるのではないかと不安が沖縄の住民にひろがっている。▼16年与那国島に、19年奄美大島と宮古島に、23石垣島に自衛隊駐屯地が開設された。沖縄本島の自衛隊も増強が続く、米軍との一体化が進んでいる。

▼映画『プラトーン』の監督として有名なオリバー・ストーンさんは今年5月朝日新聞紙上で沖縄の印象を「私の目に映った沖縄は基地に埋め尽くされた軍事拠点のようでもありました。」と語り、米国の市民は日本が「米国の意向に従順な属国であり続けている」という印象さえあります。」と述べている。

▼この夏、三上智恵監督ドキュメンタリー映画『戦雲』が県内各地で上映された。要塞化されてゆくわが町の姿を目の前に沖縄の人々は日々苦悩し、たかたかっている。山里節子さんの歌は力強く美しかった。▼いい映画だったね・・・で終わらないで、沖縄について学び、自分のこととして考えるために何ができるか。(小)

明 眸

昨年9月18

武器ではなく 音楽を通して 真実を訴える

福岡陽子さん



山梨版 その後

山梨版に登場した皆さんのその後。今回は今年4・5月のインタビュー記事に登場した福岡陽子さん。入学式のピアノ伴奏を拒否し、懲戒処分を受け、裁判をたたかった元音楽教師。裁判は最高裁で敗訴しましたが、たたかいの中で生まれたコンサート「自由な風の歌」は今年で18年目。去る9月16日四谷区民ホールで開催されました。

今年のコンサートの副題は『われらさすらい人』。はじめのあいさつで、「この副題は、東京『君が代』裁判5次訴訟がいよいよ12月に結審へ向かう今の心境・状況を比喻している」と語られました。

「さすらい人達は武器ではなく、音楽を通して真実を訴える。音楽にはそのような力が秘められている」という印象的な言葉が続きました。

石原都政時代の03年に発せられた通達で「君が代」斉唱時に起立を拒否したとして処

分された教師は500名近くに及びます。処分を受けた教師たちは5次にわたって原告として都とたたかってきており、4次裁判までは最高裁判決が出ています。軍靴の音が近づいてくる今日、音楽にはそれを跳ね返す力があります。

16日のコンサートには、実行委員の一人として、合唱団の一員として福岡さんも登壇しました。人権活動家の

分された教師は500名近くに及びます。処分を受けた教師たちは5次にわたって原告として都とたたかってきており、4次裁判までは最高裁判決が出ています。軍靴の音が近づいてくる今日、音楽にはそれを跳ね返す力があります。

披露されました。ハンガリーに生まれたバルトークとスペインバスク地方に生まれたサラサーテ。『さすらい人』の副題にふさわしい選曲に、連帯と共感が湧く熱い会場となりました。



ガウラマドンナ

平和のバトン

少し気が重いと打ち明けた。なぜなら、受講者は皆彼より年上で、中には父親と同年齢とおぼしき人も大勢いたからだ。ほんの少しナーバスなところもあった。

今は亡き祖母は、毎年お盆が近づくと、長押に掛けられた写真を見上げ、戦死した長男について独り言のようにつぶやいたものだ。

召集されて、インドネシアやフィリピンで通信業務に就いた。その傍らで、農業技術者らしく、様々な熱帯の果樹について、土壌、気温、降水量などそれぞれの生育環境を事細かに調査し、記録した。また、インドネシアの更紗の文様も、何十枚もス

民主主義は平和の礎

山梨市日下部公民館館長 内藤理



ケッチして実家へ送った。戦争が終わったなら、それらの珍しい果物や、美しい模様で付加価値を高めた絹布は、きっと郷里の農村を豊かにするはずだと確信していたのだ。

父母宛の手紙には、女学生だった妹や旧制中学に通っていた弟への優し

い言葉を忘れず、宿舎の天井に見付けたヤモリの滑稽な姿、現地の村人との談笑風景、ヒンズーの恐ろしげな神像なども、そのつど描き添えてあった。

敗戦の約十か月前のことで、享年二十二歳だった。今の私よりはるかに若い伯父の死は、たった一人の若者の戦死だが、彼も含めて戦没者が三百十万人を超えたとき、大日本帝国政府はようやく敗戦を認めた。

彼自身は、消極的であろうが積極的であろうが戦争に賛成だったのか。それとも反対だったのかも発言することもしなかったのか。あるいは、できなかったのか。

「御戦死年月日…昭和十九年十月十八日／戦地の場所…北緯十四度三分東



県都・甲府市に9条の碑を

9月22日、実行委員会の結成総会が開催されました。2025年5月3日(憲法記念日)の完成をめざします。

募金 個人：一口1000円

団体：一口3000円

事務局電話&FAX：055-252-0288

メール：imataku@s.yamanashi-min.jp